

特集

まちに吹く新しい風





# 大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた  
名品・名産・名所などの  
よかもんをご紹介します

株式会社  
鹿屋食品  
田崎工場



田崎町725-3  
☎0994-40-1506



業務用の惣菜食品を製造する株式会社鹿屋食品は、昭和62年9月に礼元1丁目で操業。平成17年1月、内発型誘致企業第1号として、市と立地協定を締結し、翌年4月に新設したのが田崎工場です。今回は常務取締役製造部長の森田安志さんに案内いただきました。

「田崎工場は加熱商品のニーズの高まりに対応する形で新設された工場です。主力商品の『ロールかつ』は、国内でも有数の製造量を誇っており、当社の

衛生面は特に徹底していて、生肉を扱う人と加熱済みの物を扱う人の手袋を色分けして、生肉を触った人が加熱済みの物に触らないようにしています。また、全商品に対し細菌検査と官能検査を行っています。官能検査とは、前回作った物と、食感や味が同じかどうか、一つひとつ五感を使って検査するもの。

当社のキャッチフレーズは『おむすびころりん 幸せころりん』。この言葉には、おにぎりを子どもに握る気持ちで商品が製造する、という意味が込められています。今後もこの気持ちを大切に企業でありたいと思っています」

商品が全国各地で販売されています。『ロールかつ』は鶏肉の中にチーズや梅、明太子など何でも巻くことが可能で、当社独自の技術、取引業者の個別の注文に応じて製造しています。



これは取引先の信頼を得る上で大切なことです。会社全体での年間売上高は21億円で、従業員は1800人。年に5人程度を採用しています。今後工場を広げる計画があり、その際は社員の募集も行う予定です。

平成23年4月には、工場敷地内に直売所「Kerumaman」をオープンし、地元の方々にも商品をお買い求めいただけるようになりました。現在、直売所と鹿屋市が連携し、鹿屋産の食材を使った商品の開発・販売を進めています。



常務取締役製造部長

株式会社鹿屋食品

森田安志さん

## ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」 広報かのや Kanoya KANOA CITY PUBLIC RELATIONS

5  
May  
2016  
No.249



### 目次 contents

- 03 大人の社会見学  
株式会社 鹿屋食品 田崎工場
- 04 特集  
まちに吹く新しい風
- 10 街フォトスクラップ
- 14 「平成28年熊本地震」被災地支援へ
- 16 新たな「地域おこし協力隊員」が着任！
- 18 市内の戦争遺跡を訪ねてみませんか
- 19 歩行者の安全を守る ゾーン30
- 20 情報掲示板
- 24 Health Care まちの保健室
- 25 市民のひろば
- 26 マチロク、  
地域おこし協力隊かのや活動レポート
- 27 明日への扉  
松永 太郎 さん



### 今月のカバー

玉泉寺公園のハナショウブ  
吾平町上名の玉泉寺公園では、毎年5月下旬ごろにハナショウブが見頃を迎えます。よくアヤメやカキツバタと混同されますが、葉の形が違ったり、ハナショウブのみ花弁の脇に黄色い模様があることで見分けることができます。

### 統計情報

平成28年4月1日現在(前月比)

- ・人口 / 102,585人 (-1,103)
- ・男性 / 48,937人 (-641)
- ・女性 / 53,648人 (-462)
- ・世帯 / 44,622世帯 (-240)
- ・面積 / 448.33km<sup>2</sup>

### 市の花 ばら

ロイヤル・ジュビリー  
濃厚なフルーツ系の香りが特徴の典型的なイングリッシュローズ。深めの聖杯型でとても美しい大輪の花を咲かせるため、お祝い事にぴったりのバラです。



### 鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ  
<http://www.e-kanoya.net/>
- 鹿屋市公式 facebook  
<https://www.facebook.com/Kanoya.City>
- 鹿屋市ラジオ広報番組  
FMかのや(77.2MHz)  
(月~金曜日、8:05~と16:05~)



## Rena Theater 映画情報 ドラえもん 新・のび太の日本誕生



「決心したぞ！僕は家出する!!」  
家でも学校でも叱られてばかりの「のび太」は、それならばと史上最大の家出へと出発する。7万年前の日本を舞台に大冒険が始まる。

- ◎上映時間 (104分)  
①10時~ ②13時~ ③16時~ ④19時~
- ◎鑑賞料  
一般 / 1,800円 大学生 / 1,500円  
高校生以下 / 1,000円 60歳以上 / 1,000円

※上映期間・上映時間・鑑賞料金は変更する場合があります。  
関リナシティかのや ☎0994-35-1001

※特別割引券は、1枚につきお一人限りです。  
また他の割引券との併用はできません。



割引券をお持ちの方は300円(60歳以上を除く)・高校生以下は200円を割引します。  
特別割引券  
ドラえもん  
新・のび太の  
日本誕生

# まちに 吹く 新しい 風



長い列を作る車に、おしゃれをしてアークードを歩く人々。この写真は今から50年前の昭和41年に、桜デパート（現まちなかパーク）前の歩道から旧市役所（現イベント広場）方面を撮影したものです。

当時の本町や北田町、大手町の商店街（中心市街地）は、市内をはじめ、大隅各地から大勢の人が集まり活気に満ち溢れていました。当時を知る人たちが「良い服を着てデパートに行くことが一番の楽しみだった」、「人が多すぎて肩がぶつかることも珍しくなかった」と語る様子からも、商店街が華やかで、まさにまちの中心と呼ぶにふさわしい場所であったことを伺い知ることができます。

昭和47年には北田交差点が県内初のスクランブル式の交差点となるなど、にぎわいを見せていた中心市街地でしたが、近年では郊外型の大型店舗の増加などにより、人と車の流れが変わり、次第に空き店舗が目立つようになっています。

## もう一度にぎわうまちに

このような中、平成23年、商店街にもう一度にぎわいをお願いする若者たちが集まり、北田商店

街周辺で「鹿屋バラ色商店街フェスティバル」が開催されました。このイベントは商店街の空き店舗を活用して行われたフリーマーケットで、大隅では珍しい雑貨や食品などを販売するお店が全国から集結。若者や家族連れを中心に1万人以上が訪れ、大変にぎわいました。

このイベントをきっかけに、まちづくりに関する新たな取り組みが加速することになります。平成25年、同じく空き店舗が目立っていた京町で「一夜限りの屋台村『ぶらり京町横丁』」を初開催。また平成27年には、大隅の豊かな食材などを使った逸品がそろった定期市「食と暮らしのマルクト@おおすみ」が初開催されるなど、今、少しずつまちが変わろうとしています。

今号では、中心市街地を盛り上げようと始まった、新たな取り組みについて紹介します。



ほぼ同じ位置から撮影した現在の様子



レトロな雰囲気の中でぎわう「ぶらり京町横丁」



屋間の京町通り

中、心市街地の本町地区には、どこか懐かしい雰囲気のあるお店が立ち並び、かつて京町と呼ばれていたエリアがあります。ここには昔中央市場があり、「大隅の台所」と呼ばれ、周辺の商店街と同じく大変な賑わいを見せていたそうです。

現在でも老舗の飲食店やスナックなどが立ち並び並ぶエリアですが、昔のような人通りはなく、空き店舗が目立つように。そんな中、平成25年に京町の賑わいを取り戻すため始まったイベントが「ぶらり京町横丁」です。これは京町を二夜限りの屋台村にして、風情ある京町の魅力をもっと色んな人に知ってもらおうという思いから始まったものです。毎年、大勢の来場者が訪

れるなど、京町のファンを増やす原動力となっています。

そして今年、京町に新たなお店がオープンしました。きっかけは昨年1月に市が主催して行ったリノベーションスクールでした。リノベーションスクールとは、空き家や空き店舗などの遊休不動産の活用(リノベーション)を通じて都市再生の手法を学び、実際にまちに出て体験する短期集中講座のことです。参加者は中心市街地に実在する物件を対象に、グループごとに3日間を活用方法のプランを出します。

この中で提案されたプランの一つが「夜の町である京町を、昼も人々にぎわう場所にしよう」というものでした。具体的には京町の空き店舗に飲食店などを出店させ、

また今年も京町以外にも、まちの活性化のためのプロジェクトが始動しています。次ページでは、女性が企画・運営し、商店街の活性化につなげていくことを目的とした市民協働ショップ「KITADA SARUGA」について紹介します。



# 生まれ変わる京町

## 京町をにぎやかな場所にしたい



京町「焼パン」オーナー 酒井 光昌 さん (41歳)

市内の高校を卒業後、東京の運送会社で働いていました。会社を辞めて帰郷後は、実家の農業を手伝いつつ、イベント広場で行われている土曜朝市で、自分で育てた小麦で作ったパンや野菜を売っていました。

ある日の土曜朝市で販売を行っていたところ、見知らぬ人たちから「京町でパン屋さんしてみませんか」と声をかけられました。最初はだまされていたのですが、最初はだまされていたのではないかと疑いましたが、よくよく聞いてみると、まちの活性化のための真剣なプロジェクトであると感じ、「これはチャンスだ」と思い引き受けることにしました。

私が小さい頃は商店街もにぎやかで、人通りも多かったのですが、今は空き店舗が増えて寂しい限りです。

このお店を増やせばいいですね。実際、すでに変化が起きていて、このお店ができる前はあまりいなかった親子連れなどの姿を見かけることが多くなりました。今後どのようにまちが変化していくのかも楽しみにしています。

〈焼パン〉営業時間／8時〜18時  
定休日／原則毎週水曜日及び毎月第4日曜日



おしゃれな店内には鹿屋産小麦と天然酵母を使ったパンの良い匂いが漂う



## 「食と暮らしのマルクト」@おおすみ



## 商店街に再び活気を」と願う若者たちが集まり、空き店舗を活用して平成23年に初めて開催された「鹿屋バラ色商店街フェスティバル」。このイベントの仕掛け人で実行委員長を務めた川島康文さんは当時のことをこう振り返ります。

「たぶん僕らが中心市街地の賑わいを体験している最後の世代だと思っています。商店街の空き店舗でこのイベントを開催したのも、商店街のシャッターが開き、人と笑顔が溢れる光景をもう一度見てみたいという思いからでした」

その後、このイベントは「BARAIRO フェスティバル」と名前を変え、年1回ずつ開催していましたが、平成27年3月に行われた第5回目で幕を下ろします。毎年多くの来場者が訪れるな



珍しい商品を見つけに商店街に多くの人が訪れた「BARAIRO フェスティバル」

ど、一見成功しているように見えたイベントを終わらせたのは、意外な理由からでした。「イベント自体は1日に1万人以上が集まるなど、成功と呼べるものであったと思います。しかし、年1回のイベントはあくまで非日常。このイベントの趣旨であった、まちの未来を考えるきっかけをつくり、人々をつなげ、前向きな力を促進させるという役割は果たせたと感じ、次の仕掛け作りのため、終了することにしました」

そして次なる仕掛けとして平成27年9月に始まったのが「食と暮らしのマルクト@おおすみ」でした。川島さんはこのイベントを通して鹿屋をもっと魅力的なまちにしたいと語ります。

「この『食と暮らしのマルクト@おおすみ』は大隅の豊かな食



まだ地元ではあまり知られていない逸品などが並ぶ「食と暮らしのマルクト@おおすみ」



かわした やすふみ 川島 康文 さん (39歳) 「食と暮らしのマルクト@おおすみ」実行委員長

「食と暮らしのマルクト @おおすみ」

日時／毎月第4日曜日 10:00～16:00  
場所／リナシティかのや周辺  
※天候などにより日程や場所が変更又は中止されることがあります。最新情報はマルクトホームページをご覧ください。  
<http://ohsumiyamori.com/market/>

材や原料などを使って作られた逸品がそろう月1回の定期市です。大隅の魅力を生かしたマーケットを行うことで、まちの新陳代謝を促し、地域の活性化につなげたいと考えています。

まちの魅力は『歴史』と『思いを持つ人たち』です。今後はこのまちが元々持っている力を引き出しつつ、ファンをつくるためのビジョン作りが重要だと思っています。このビジョンを通して、面白い場所に面白いお店や人が集まる。多くの人たちがこの場所に開わりたくなるようなそんなまちになると嬉しそうです」

### ワークショップを開催しています

女性が学びたい講座をたくさん開催しています！ぜひご参加ください。



- 5/22 (日) アクセサリー作り
- 5/26 (木) メイクレッスン
- 5/28 (土) ハーブオイル作り
- 5/29 (日) せっけん作り

※前日までに申込が必要です。最新の情報はフェイスブックをご覧ください。

以前からアクセサリー作りに興味がありましたが、今までこういう講座が無かったと思うので参加できて良かったです。

難しい作業もありましたが、楽しくてあっという間でした。また挑戦してみたいですね。



ワークショップに参加した今村美星子さん(右)、宮田美里さん(左)



### サルツガセレクト

熊本県の阿蘇にあるポーランド製食器店から取り寄せた一点ものの食器や素材や製法にこだわったチョコレートなど、全国から選り抜いた逸品が並びます。

鹿児島ではなかなか手に入らない商品ばかりなのでプレゼントなどに喜ばれています♪



スタッフ 井上さん



鮮やかな色彩のポーランド製食器



石けんで作られた花「ソープフラワー」

# KITADA SARUGGA



今年1月、北田大町商店街の「シューズセンターにしん」跡地に、市民協働ショップ「KITADA SARUGGA」がオープンしました。

「さるが」とは鹿児島弁で「歩こう」を意味する言葉で、「商店街を元気にして、商店街にもう一度にぎわいを取り戻したい」という願いが込められています。

店内ではおしゃれな雑貨や新鮮な野菜、こだわりのパンなどを販売しているほか、そば粉を使ったクレープ「ガレット」を味わうことができます。

### カフェスペース

店内で販売している「大人のシュークリーム」やお茶、FOREST LAMPで販売しているガレットなどを食べることができます。



無料で無線LANを利用できるので、パソコンやタブレットを持ち込んで、作業をしながらお茶を楽しむこともできますよ。



オレンジキュールが特徴の「大人のシュークリーム」260円



スタッフ 山之内さん

### ハンドメイド雑貨

市内外のハンドメイド作家が制作した、手作りならではの温もりが感じられる商品が並ぶコーナー



季節感を大切にするタニアさんが手がけたディスプレイもお楽しみください♪旬の素材を使った手作りジャムも人気です！

### タニアさんセレクト

ドイツ製の食器や花瓶など、ここでしか買えない商品を料理研究家「門倉多仁亜」さんがセレクト！



スタッフ 福満さん



1970年代に作られたドイツ製食器

かどら た に 亜 門倉 多仁亜 さん

1966年、日本人の父とドイツ人の母の間に神戸市で生まれる。料理とお菓子作りをイギリスで学び、現在東京と鹿児島を拠点にドイツスタイルを紹介するなど、テレビや雑誌などで活躍中。



### 新鮮野菜・こだわりパン

高限産の無農薬野菜、材料や安心安全にこだわったパンなどのコーナー。人気のものは午前中で売り切れることも！



### フォレストランプ FOREST LAMP

そば粉や無農薬野菜を使ったクレープ「ガレット」を提供するカフェで、材料は全て地元産にこだわっています。

また新鮮なフルーツを使用したフレッシュジュースや身体に優しいグリーンスムージーもおすすめです。



ガレット 650円～  
フルーツやクリームなどが乗ったガレットデザートも女性に人気

### KITADA SARUGGA

- 所 鹿屋市北田町 8-9
- TEL 0994-45-6168
- 営 11:00 ~ 18:00  
ラストオーダー 17:30
- 休 火曜日
- 駐 城山公園駐車場ほか



最新情報をフェイスブックで更新しています。「KITADA SARUGGA」で検索するかスマートフォンで右のQRコードを読み込んでください。



# 街フォト スクラップ

みんなのイマをパシャ!!

式典

## 住み慣れた地域での生活をサポート



4月1日、鹿屋市地域包括支援センターの開所式が行われました。このセンターは、高齢者等が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を送れるように支援する総合相談機関。複雑かつ増大する住民ニーズに対応するため、市内に4か所あった地域包括支援センターを統合し、吾平町鉄道資料館跡地に開所しました。運営は鹿屋市医師会が担い、関係機関が一丸となって業務を行います。

## はしご付き消防車を新しく配備



3月30日、大隅肝属地区消防組合で「はしご付き消防自動車」の更新に伴うお披露目式がありました。  
この新しい「はしご付き消防自動車」は、これまで使用していた車両に比べ、はしごの高さが5メートル以上延長。また、はしごの先端が屈折する装置など最新鋭の装備が備わっており、困難だった高層建築物における救助などでの活躍が期待されます。

## 恒久平和を祈念し不戦の誓い



4月2日、小塚公園慰霊塔前広場で「旧鹿屋航空基地特別攻撃隊戦没者追悼式」が行われました。  
式典では、来賓による辞書の後、参列者による献花に続いて遺書と平和へのメッセージを朗読。旧海軍鹿屋航空基地から出撃した隊員908人の御霊を慰めるために全国から集まった参列者は、特攻隊員への思いを込めながら、不戦と恒久平和の誓いを新たにしていました。

## 安全安心なまちづくりに向けて



4月4日、鹿屋警察署武道館で「春の交通安全地域安全運動出発式」が行われ、警察や交通安全協会、防犯協会等約150人が参加しました。  
あいにくの雨により屋内に変更して開催された出発式では、安全安心なまちづくりに向けて、関係機関の重点取り組みが発表されたほか、敬心保育園の園児11人が、地域の安全安心を祈願して空手演武を披露しました。

## 災害時の応急対策協定を締結



4月12日、市役所で「災害時の応急対策の協力に関する協定」の調印式が行われました。これは市と県土地家屋調査士会、県公共嘱託登記土地家屋調査士協会の3者が、災害時に相互に協力して対応に当たることが定められた。災害発生で建物の倒壊や土地境界標が失われるなどした場合に、登記や境界に関する相談所の開設、境界の情報の収集や復元などを行います。

## 産 業

## 「かのや豚ばら丼」を関西で販売



4月14日～16日、関西地区に140店舗を展開するスーパー「平和堂」で、「かのや豚ばら丼」の販売が行われました。これは昨年開催された「全国丼グランプリ」で金賞を受賞した「かのや豚ばら丼」を全国に向けてPRするために行われたもので、県外で販売されるのは初めてのこと。販売は順調で、用意した3,000食は、ほぼ完売となりました。

## 新社会人としての決意新たに



4月6日、鹿屋商工会議所で「中小企業合同入社式」が行われ、市内20事業所に新たに入社した64人が出席しました。  
新入社員を代表して、株式会社ミスホ商会の牛渡寛さんが、社会の一員としての第一歩を踏み出す喜びを表明し、「いかなる困難にも打ち勝ち、持てる力を十分に発揮して、地域社会に貢献していきたい」と抱負を述べました。

## 熊本地震被災地へ職員派遣を開始



4月18日、大隅4市5町で構成する「大隅半島4市5町復興支援チーム」が発足し、21日に市役所で共同会見及び支援物資出発式が行われました。4市5町の首長による共同会見で、今後の物資支援、職員派遣の内容等について報道陣に説明。会見後は早速現地情報収集員として4人が出発しました。  
今後、4市5町が協力して復興支援に当たります。

## 地 域

## 鹿屋体育大学での飛躍を誓う



4月5日、イベント広場で「鹿屋体育大学新入生歓迎会」が開催されました。  
これは、地域づくり交流事業実行委員会が毎年行っているもので、今年で20回目の恒例行事。  
当日は、かのやカンパチや鹿兒島黒牛、黒豚など地元食材を使った料理が振る舞われ、参加した新入生197人は、鹿屋の味を堪能し、今後の飛躍を誓いました。

## 元気な子牛が鳴之尾牧場に入牧



4月21日、鳴之尾牧場で春の入牧が行われました。  
これは、おおむね6か月～12か月の乳用子牛を酪農家から預かり放牧するもので、今年には46頭が入牧。雨が降り、厚い霧が立ち込める中でしたが、子牛たちは元気いっぱい草を食べて回っていました。放牧期間は1年～1年半ほどで、その間受精を行い、分娩の2か月～3か月前に酪農家のもとに帰ります。

### 自転車競技でオリンピック出場決定!



4月8日、自転車競技でリオデジャネイロオリンピック出場を決めた塚越さくら選手を祝う「懸垂式」と「電光掲示板の点灯式」が市役所で行われました。塚越選手は3月に鹿屋体育大学大学院を卒業し、現在は鹿屋市に拠点を置く自転車チーム「CIEL」所属。塚越選手は「鹿屋の皆さんのおかげで勝ち取れたオリンピックです。応援をよろしくお願いします」と話しました。

### 灯ろう流しで特攻隊員を偲ぶ



4月2日、リナシティかのや周辺で「特攻隊員を偲ぶ市民の集い」・「灯ろう流し」が行われました。当日は、特攻隊員の遺書の朗読が行われた後、特攻隊員として鹿屋から出撃し帰還した、広島県在住の柳井和臣さん(94歳)が当時の思いを出を披露。その後、肝属川で灯ろう流しが行われ、参加者は特攻隊の部隊名が書かれた灯ろうの光を眺めながら、特攻隊員を偲び、恒久平和を祈っていました。

### 広域観光の推進に期待



4月11日、市役所で「大隅広域観光コーディネーター」に就任した石田 彦さんに委嘱状が交付されました。任期は4月1日から1年間。石田さんはこれまで、東京・お台場の「アークアシティ」や福岡・門司港レトロ地区にある「海峡フラザ」等の企画・開発業務とまちづくりに従事した経験があり、今後大隅半島全体の広域観光の推進が期待されます。

### 横浜のバラ園と友好協定を結ぶ



4月28日、かのやばら園で、バラ育種家の河合伸志氏が所属する「横浜イングリッシュガーデン」との「友好協定締結式」が行われました。この協定は、かのやばら園の全国への発信力と栽培技術の向上を図るため結んだもの。また、この日は「かのやばら祭り2016春」オープニングセレモニーも行いました。かのやばら祭りは6月5日から開催しています。

### 高齢者のために踏み台を寄贈



4月11日、市役所で「在宅高齢者用踏み台贈呈式」が行われ、鹿屋建具木工組合から市に踏み台45台が寄贈されました。これは平成13年度から同組合が足腰の弱い高齢者に、玄関や台所などで活用してもらうことを行っているもの。高齢者代表として贈呈式に出席した富永美枝さん(84歳)は「大変ありがたい。大事に使いたい」と話していました。

### 地域の皆さんに恩返し



4月11日、大隅肝属地区消防組合で、「輝北高規格救急自動車配備式」が行われました。これは、株式会社森建設(輝北町上引町)が、会社設立60周年を機に、これまで協力いただいた地元の皆さんに恩返しをしたいと同組合に2,300万円を寄付し、救急車や自動心臓マッサージ器などの救急装備品を整備したものの、救急車は式典後、早速、輝北町署に配備されました。

### 2016くしら桜まつり



3月25日から4月3日にかけて、串良平和公園で「2016くしら桜まつり」が開催されました。4月3日には、「第31回くしら桜まつりジョギング大会」を開催。4コースに約45人がエントリーし、桜並木の下で健脚を競いました。また、期間中は夜桜のライトアップや歩行者天国も行われ、市内外から多くの家族連れなどにぎわいました。

### 山王どんで「輝北畜産まつり」



4月10日、「山王どん」の愛称で親しまれている輝北町の日枝神社で「輝北畜産まつり」が開催されました。当日は、カラオケ歌謡ショーや舞台演芸が披露されたほか、毎年恒例となっている牛・馬の神様を祭る日枝神社ならではの「血統書付き黒毛和牛の子牛」が当たる抽選会も行われ、当選者が発表されると、会場から大きな歓声があがっていました。

### ハイキングで春の空気を楽しむ



4月29日、輝北つわば公園で「輝北グリーンハイキング」が開催されました。このハイキングは、この時期ならではの新緑と輝北つわば公園の絶景を満喫してもらおうと毎年行われているもの。市内外から参加した140人は、澄みきった青空の下、濃さを増した木々の緑や通り抜ける風を楽しみながら、さわやかな汗を流していました。

### 全国優勝の栄冠に輝く



4月11日、鹿屋中央高校レスリング部の選手、監督らが市役所を訪れました。これは、3月に行われた「第59回全国高校選抜レスリング大会」で、鹿児島県勢として38年ぶり、同校としては悲願の初優勝を果たしたことから行われたもの。この日は、優勝トロフィーやメダルを胸に、練習での苦勞や初優勝の喜びなどを報告しました。

### 産科医師不足に朗報



大久保将礼医師



4月13日、市役所で「大隅4市5町保健医療推進協議会総会」が開催されました。同協議会は平成26年7月の設立以降、産科医師確保に取り組んでおり、総会では4月から大隅地域に、大久保将礼医師(産婦人科・常勤)と、3月に鹿児島大学医学部教授を返官した堂地 勉医師(県民健康プラザ鹿屋医療センター)・非常勤の2人が着任することが報告されました。



瓦が崩れ落ちた民家（宇城市中心部）



ビニールシートで覆う屋根が目立つ宇城市の住宅街

# 「平成28年熊本地震」被災地支援へ

4月14日から熊本・大分両県を中心に続いた大地震「平成28年熊本地震」は、両県に甚大な被害をもたらしました。相次ぐ余震、物資の不足、健康被害などの不安の中にある被災者を支援しようと、震災発生以降、全国各地から被災地への支援活動が行われ、その活動は本格化してきています。鹿屋市も様々な分野での支援活動を開始しました。

【市安全安心課（3階）】 ☎0994311224

地震発生後間もない4月16日

から、熊本県内で配水管の破損による断水や水源の汚濁等が発生しているとして、鹿屋市は上下水道部所有の2トン給水車1台と職員を熊本市内へ派遣し、給水活動に当たりました。

4月18日には、大隅半島4市5町（鹿屋市・垂水市・志布志市・曾於市・大崎町・東串良町・肝付町・錦江町・南大隅町）で構成する「大隅半島4市5町復興支援チーム」（会長・中西茂鹿屋市長）が結成され、共同して被災地への物資支援・職員派遣・一時避難者の受け入れ等を行うことが決められ、早速4月21日から熊本県宇城市役所へ向け支援物資の発送を行いました。4

月23日からは4市が宇城市役所

へ、5町が同県御船町役所へ罹災証明発行業務の支援等を行う職員の派遣も開始しました。また市は被災住宅調査の支援のため、4月22日から同県甲佐町へ、5月3日から熊本市へ建築技師を派遣しました。

4月27日からは、熊本県内の被災自治体の業務負担を軽減するため、市は熊本県の自治体が行う「ふるさと納税」事務の代行も行っていきます。

このほか、多くの市民の皆さんからの義援金や物資の提供などの支援はもちろん、市内の様々な団体による物資支援や現地での炊き出しなどのボランティア活動も広く展開されてい

ます。

5月下旬には下水道課職員の熊本市内への派遣も予定しています。被災者の避難生活が長期化すれば、市は今後も継続して支援活動に当たります。

## 熊本地震への義援金の受付を行っています



市では、4月14日から続いた「平成28年熊本地震」の被災者を支援するため、義援金の受付を行っています。

### ◎義援金箱設置場所

- 市役所本庁1階ロビー
- 各総合支所1階入口付近
- 分庁舎（上下水道部）1階入口付近
- かのやばら園入園口及び西口

### ◎受付時間＝平日の8:30～17:00

※領収書が必要な場合は、市安全安心課に現金を直接持参してください。



次々に届けられる支援物資（宇城市役所）



支援物資の配給を待つ被災者（宇城市保健福祉センター）

## 震災復興支援

### ～おおかなと大船渡市への派遣を終えて～

震災と言えば、思い起こされるのは5年前に起きた「東日本大震災」。鹿屋市は、東北の復興支援として、平成25年4月から岩手県の大船渡市役所に職員を派遣。今年4月、大船渡市役所での3年間の任期を終え、鹿屋市役所に帰任した栗脇幸仁主査に、大船渡市で行った支援活動や災害への備えなどについて聞きました。

### 被災地派遣への志

平成13年に土木技師として入庁し、12年間培ってきた経験を生かして東日本大震災の復興に少しでも貢献したいと考えたのが派遣に応募した動機でした。大船渡市役所には、70のような派遣職員が全国から170～80人いて、様々な分野の業務に当たっていました。

### 漁港等の復旧を担う

大船渡市役所では水産課に所属し、津波や地震による地盤沈下で被災した漁港施設や防潮堤の復旧に従事。市が管理する16漁港のうち3漁港と、7か所ある津波防潮堤のうち1か所の整備を担当しました。

### 長期間の復旧工事

災害復旧は津波による倒壊への対応だけでなく、地震によって起きた広域の地盤沈下に対する高上げも必要です。一見被災していないように見える港湾・漁港施設も満潮時になると水没し、施設の機能を果たせない状況にありました。

ただ漁港施設は、使用する漁業者と係船場所を調整しながら工事を進めなければなりません。これは施設を新設するよりも長い工期が必要でした。

また、派遣1年目の秋から担当した防潮堤も、三陸復興国立公園内や名勝・天然記念物である海岸に隣接していたため、風致保護等の協議に多くの時間を要し、設計から協議、工事着手

大船渡市



市道路建設課 栗脇 幸仁 主査（40歳）

までを手掛けるとなると、どうしても3年間の派遣期間が必要となったのです。

結局、担当した3漁港のうち1漁港のみの復旧に終わりましたが、残りの2漁港は今年6月末に復旧し、防潮堤も7月末には完成予定です。

### 復興の兆し

派遣1年目は、がれき撤去後の広い土地と、数珠つなぎの工事用車両が印象的でした。

2年目になると、高台集落移転の造成工事で搬出された土砂の山と、防潮堤工事に使う大型重機が密集して作業を行っている姿が見られるようになりまし

た。

そして3年目には、高台移転先の造成等もほぼ終わり、住宅を再建された被災者が少しずつ仮設住宅を離れ、新しい生活を営んでいます。

私の住んでいた仮設住宅も鹿屋に帰任する直前には、私たちが家族を含めわずか2世帯となり、寂しくもありましたが復興の兆しを感じました。

今年3月13日には、大船渡駅周辺で「第1期まちびらき」が行われ、復興後の「まちの顔」となる区域の門出を祝いました。今後、同区域内にホテルやショッピングセンター等が営業を開始し、復興に向けた動きが加速するものと思われます。

### 災害への備え

豪雨、土砂崩れ、地震など、さまざまな災害がありますが、それは他人事ではなく、いつ自分たちの身の上に起こるか分かりません。

大船渡市の知人たちが震災後実践しているのは、避難場所や避難経路の確認と、自宅や車に1人当たり2～3日分の水と食料等を備蓄することです。私も、万が一に備え、水と食料、ラジオ等の防災用品を大船渡でそろえました。この備えは鹿屋に帰ってきた今でも実践し続けています。

4月14日に発生した熊本・大分両県を中心とする地震災害の惨劇を見て、災害への備えへの大切さを改めて痛感しています。



※平成28年4月からは林康隆主任技師（37歳）を大船渡市へ派遣しています。

# 新たな「地域おこし協力隊員」が着任！ 女性の力で鹿屋を元気に！！

「地域おこし協力隊」は、総務省が行っている事業で、過疎化や人口減少などの進捗が著しい市町村が、都市部に住む人材を積極的に誘致し、新たな発想・能力を地域づくりに発揮してもらい、将来的に定住・定着を図っていく取り組みで、鹿屋市では平成26年度から実施しています。

今年4月には新たに2人の隊員が誕生。4月1日に「スポーツコミッションマネージャー」として木下葉菜さん(21歳)、19日には「かのやオフィシャルリポーター」として半田あかりさん(31歳)が着任しました。期間はおおむね1年以上、最長3年間。今回の2人の着任で市内の「地域おこし協力隊員」は5人となり、鹿屋に元気と活力を与える役割が期待されます。

市地域活力推進課(3階) ☎0994-31-1147

## 鹿屋市のスポーツコミッションマネージャーとして

4月から勤務することになりましたが、実はスポーツをやっていたのは、部活動でバレーボールをしていた中学校時代まで。通っていた南大隅高校は自転車競技が有名ですが、書道部に所属していました。それでも家庭や高校など周囲が自転車に親しむ環境にあったため、次第に自転車競技に魅力を感じるようになり、少しずつ県内の自転車イベントの手伝いをしていくうちに、自ら積極的にイベントに関わるようになりました。

私の主な仕事は、昨年10月に鹿屋市に誕生した地域密着型プロサイクリングチームである「CIELEBLUE鹿屋」の育成支援や、サイクルスポーツの企画・運営、すべてが初めての取り組みなので、不安なこともありますが、大好きな大隅の地で働けることは本当に嬉しく思っています。

さらには選手がリオデジャネイロオリンピックの出場を決めました。オリンピック選手と関われるなんて本当にありがたいこと。チームをもっとアピールして、個人サポーターを増やし、選手を盛り上げることができたらと思っています。



▲練習前に自転車をチェック

## 自転車で鹿屋を元気に！！

木下 葉菜 隊員

平成7年旧大根占町生まれ。南大隅高校卒業後、福岡市の短大を経て、平成27年福岡市の菓子店に就職。4月1日から「地域おこし協力隊員」として市民スポーツ課に配属。スポーツコミッションマネージャー。

## 生

まれも育ちも大阪市で、これまで大阪を離れて住んだことがなかったのですが、縁もゆかりも無い鹿屋への移住は大変悩みましたが、自分が全力で取り組めるのは今しかないという思いもありましたし、それにも増して鹿屋の皆さんの熱い思いに胸を打たれ決断しました。

松竹芸能株式会社という芸能プロダクションに所属していて、これまでもテレビや舞台で漫才やコントをはじめ、司会や

リポーターなどもやっています。

私の主な仕事は、鹿屋の農林水産業や地元食品などを中心に、鹿屋の魅力を探し、情報発信すること。

そのために、農家や漁師の皆さんのお宅へ訪問したり、そこで実際に農作業などを体験させてもらったりする予定です。その際には、皆さん、快く迎えてください。また、昨年鹿屋で誕生し、多

## トークで鹿屋を元気に！！

半田 あかり 隊員

くの人に親しまれている『カンパチダンス』を市内外の皆さんにもっと知ってもらい、また実際に皆さんにダンスを指導する業務も担っています。見るだけでも楽しいダンスですが、踊るとより楽しいですね。そんな私もまだ覚えただけなので、早く『かのやカンパチロウ』君から太鼓判を押されるように上達したいと思っています。

漫才は体力勝負の仕事。これまで、いろんな格好で舞台上に上がってきたので、お見苦しくない程度には何でもやります。ま

た、趣味でボクシングやドラマもやっているの、体力にも自信があります。

鹿屋はのどかで、空気がおいしく、風が気持ちいいですね。おいしい食べ物もたくさんあります。

これから『鹿屋』をもっと勉強していくことはもちろん、これまでの経験を早く生かして、鹿屋から全国に元気と笑顔届けようと思っています。

真面目に一生懸命に頑張りたいと思いますので、皆さん、どうぞよろしくお願いします！

## 「かのやオフィシャルリポーター」 就任記者会見を行いました！

着任した日の4月19日、鹿屋市役所で就任記者会見が開かれました。半田さんは、「かのやカンパチロウ」と「ばららちゃん」とともに会場に登場。多数の報道陣を前に、コント仕立てのユニークな記者会見で会場をわかせました。

半田さんは会見で、「カンパチの刺身はメチャおいしいので全国で食べてもらいたい」、「かのやばらら園を全国にPRしたい」など、鹿屋の食についての感想やこれからの意気込みを述べました。



最後に、あかり・カンパチロウ・ばららのローマ字の頭文字を掲げた3人。今後、「AKB」としての活動にも期待！



▲「かのや豚ばら丼」をPR

昭和59年大阪生まれ。21歳の時にタレントデビューして以来、舞台やテレビ等で活動。4月19日から「地域おこし協力隊員」として市農林水産課に配属。かのやオフィシャルリポーター。

# 地下壕第一電信室



ベンチや遊歩道などを整備したほか、音声による案内板を設置しました。



場所：鹿屋市串良町有里 4963-2  
時間：年末年始を除く 9:00 ~ 16:00



旧海軍航空隊串良基地の関連部隊との連絡が行われていた地下壕で、特別攻撃隊員が突撃前に送る電信を受け取っていた場所としても知られています。戦時中、ここでは隊員たちが24時間3交替制のもと、その任務に当たっていました。地下壕内には受信機や送信機のほか、電話や発電機などが配備されていたとされています。2か所の出入口付近には、爆風をよけるための防壁と土壘がそれぞれ設けられており、当時の空襲対策の一端を垣間見ることができます。

## 市内の戦争遺跡を訪ねてみませんか

市内には今も多くの戦争遺跡が残されています。このたび市では戦後70年記念事業の一環として、市指定文化財の戦争遺跡2件(地下壕第一電信室、川東掩体壕)の周辺整備として駐車場や遊歩道、看板などを整備しました。今まで以上に見学がしやすくなりましたので、平和学習の場としてぜひご活用ください。

市ふるさとPR課(2階) ☎0994-31-1121



掩体壕は、戦時中に航空機や物資などを敵の攻撃や爆風から守るために作られた施設です。土をコの字型に盛ったものからコンクリート製のものまで、たくさんの掩体壕が基地周辺に建設され、大人から子どもまで多くの人々が動員されました。この川東掩体壕は、旧海軍航空隊笠野原基地で使用されていたものでは唯一現存するものです。アーチ状のコンクリートには玉石が混ぜられています。この掩体壕には零式艦上戦闘機(零戦)が入れられていたと言われています。



場所：鹿屋市川東町8206-5

### 「ゾーン30」とは？

「ゾーン30」とは、通学路や生活道路が集中している区域を市と警察署が協議して、歩行者等の通行を最優先する区域に指定するもの。区域内の最高速度を時速30kmに制限するとともに、その他必要な交通規制や道路改良等を行うことで交通事故防止を図ります。

時速30kmという速度が採用された理由は、交通事故の際に歩行者が死亡又は重症化する確率が時速30kmを超えると急増するためです。

### 「ゾーン30」に指定される道路はどのように変わるの？

「ゾーン30」に指定されると、ゾーン入口に速度規制の標識を設置したり、交差点や路側帯のカラー化を行ったりして、歩行者優先の空間をひと目で分かるようになります。



▲ゾーン30内の道路

## 歩行者の安全を守る



「ゾーン30」とは、生活道路における交通安全対策の一つで、欧米で広く採用されているものです。今号は、「ゾーン30」の仕組みや設置場所、今後の交通安全対策などについて紹介します。

市安全安心課(3階) ☎0994-31-1124



### 市内にも「ゾーン30」はあるの？

平成26年度に寿小学校周辺が「ゾーン30」として指定されました。「ゾーン30」の指定は鹿屋警察署管内で初めてのことです。

### なぜ寿小学校周辺が指定されたの？

この区域には寿小学校をはじめ、第一鹿屋幼稚園、寿敬心保育園があり、児童園児が通学路として利用していることや、付近一帯が住宅密集地となっており、区域内の道路が地域住民の生活道路として利用されています。

また市内南部及び県道68号(鹿屋吾平佐多線の抜け道)として車両の通行が多く、歩行者が被害者となる交通事故の発生が強く懸念される区域です。

そこで、事故を未然に防止するため、寿小学校周辺を「ゾーン30」区域に指定し、通行車両の速度抑制等により、歩行者の安全を確保することとしたものです。一帯には、「ゾーン30」入口の路面表示・時速30km規制標識の設置、交差点や路側帯のカラー化等が施されています。

## えんたいごう 川東掩体壕



▲寿小学校周辺の「ゾーン30」エリア

### ほかの小学校周辺も指定されるの？

「ゾーン30」の指定は、周辺の道路幅や交通事情などにより検討されるため、なかなか寿小学校周辺のように範囲(ゾーン)

が指定されることは難しいのが実情です。

そこで、他の小学校付近でも交通安全対策を充実させるために、平成28・32年度に実施するのが「ゾーン30」の指定です。これは市内小学校周辺で事故発生の恐れがある横断歩道や通学路(レーン)をピックアップし、カラー化することで、速度規制やドライバーへの注意喚起を行うものです。

まずは初年度に鹿屋小学校区で試行的に実施し、以降、他校区にも随時実施していく予定です。

## 「ゾーン30」で安全な道へ



交通安全ボランティア 横山 太さん

「ゾーン30」のエリア内で、登校する子どもたちの安全指導を行っています。「ゾーン30」に指定されたからと言って油断は禁物。運転者も歩行者も適正な利用が求められます。

運転者は歩行者への思いやりを持って走行し、歩行者の皆さんも車に十分に気を付けて、利用者双方が安全・安心な道路することが大切です。

**募集・申請**

**市産業支援センター「インキュベータ室」の入居者を募集**

- 施設内容
- 施設数 1 室
- 面積 33.78㎡
- 設備等 空調・電気・電話・インターネット光回線・24時間セキュリティ など
- 電気・電話・インターネット使用料は入居者負担
- 電話・インターネットは個別契約
- 専用駐車場無し
- 使用料 月額 22,349円 ※毎年度見直しあり
- 共益費 月額 1,000円
- 上下水道料金を含む
- 入居期間 8月1日(月)から2年以内
- ※必要と認められた場合、1年延長可能
- 対象者 以下のいずれかの要件を満たす個人又は法人
- 新たに起業を目指している者
- 新たな事業や分野への進出又は研究開発に取り組もうとする者
- 審査方法 書類・面接・プレゼンテーション



**あなたの「やる気」、求めています  
～鹿屋市職員募集～**



鹿屋市では、平成28年度職員採用試験を次のとおり実施します。

**●試験を行う職種、試験区分、採用予定人数、受験資格等【7月実施分(第1次試験)】**

職種	試験区分	採用予定人数	受験資格
一般事務	区分A (大卒程度)	10人程度	昭和62年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ※障がいのある人は、昭和60年4月2日以降に生まれた人が対象
土木技師	区分B (大卒程度)	2人程度	※土木技師については、土木専門課程を修了した人又は平成29年3月までに履修見込みの人
保健師	区分C	2人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた人 ※障がいのある人は、昭和55年4月2日以降に生まれた人が対象 ※保健師免許を有する人又は平成28年度実施の国家試験で取得する見込みの人

※採用予定人数は、退職者数の状況等によって変更になることがあります。

○なお、今後、次の職種も募集予定です。

職種	採用予定人数	第1次試験日
民間企業等職務経験者	5人程度	8月14日(日)
一般事務(高卒程度)	2人程度	9月18日(日)
鹿屋看護専門学校専任教員	1人	鹿屋市教育委員会から別途案内

**●試験の方法及び内容【7月実施分(一般事務(大卒程度)、土木技師(大卒程度)、保健師)】**

区分	試験方法及び内容	
第1次試験	試験日	平成28年7月24日(日)
	試験会場	鹿屋看護専門学校(鹿屋市西原3丁目7番40号)
	試験科目	一般事務(区分A) 教養試験(択一式)、行政専門試験(大卒程度 択一式)、論文試験、適性検査 土木技師(区分B) 教養試験(択一式)、土木専門試験(大卒程度 択一式)、論文試験、適性検査 保健師(区分C) 教養試験(択一式)、保健師専門試験(択一式)、論文試験、適性検査
	合格発表	平成28年8月19日(金) 午前10時(予定)
第2次試験	試験日	未定(第2次試験等の詳細については、第1次試験合格者に対して別途通知)
	試験科目	面接試験

**●申込方法等【7月実施分(一般事務(大卒程度)、土木技師(大卒程度)、保健師)】**

区分	内容
試験案内・受験申込書の入手方法	配布期間 平成28年5月13日(金)～6月22日(水) 次のいずれかを選択 ①鹿屋市役所総務課、各総合支所住民サービス課、各出張所のいずれかの窓口で入手 ②郵送で入手(封筒に受験を希望する職種及び「受験申込書請求」と記載し、返信用封筒を同封のうえ郵送) ③返信用封筒は、角型2号封筒・240mm×332mm、120円切手貼付、返信用宛先を明記 ④鹿屋市ホームページからダウンロードして入手
申込方法	次のいずれかを選択 ①直接、総務課人事研修係(鹿屋市役所本庁3階)に申込 ②返信用封筒(長形3号・120mm×235mm、82円切手貼付、宛先明記したもの)を同封して郵送にて申込 ③インターネットで申込(電子申請) ※鹿屋市ホームページ内、画面中央の「平成28年度職員採用試験について」からアクセスし、電子申請の詳しい手続を確認してから申し込んでください。
申込受付期間	①持参、郵送 平成28年6月1日(水)～6月22日(水)17時15分まで ※郵送必着 ※土・日曜日を除く ②インターネット 平成28年6月1日(水)～6月15日(水)17時15分まで
申込書提出先	〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号 鹿屋市総務部総務課人事研修係

鹿屋市総務課(3階) ☎0994-31-1127

**「ここに子育て応援教室」の受講者を募集**

回	内容	日程
1	わらべうた遊び	6/14(火)
2	楽しく水遊び	7/19(火)
3	リズム遊び	9/27(火)
4	楽しい外遊び	10/25(火)
5	親子でビザ作り	11/15(火)又は29(火)
6	正月遊び	1/17(火)
7	ひなまつり	2/21(火)

- 応募方法 以下の書類を直接持参又は電話で応募するか、氏名・ふりがな・性別・年齢・住所・電話番号及び子どもの氏名・ふりがな・性別・生年月日を記入しメール又はFAX
- 応募期限 5月27日(金)
- 受付時間 平日の8時30分～17時
- 時間 10時30分～11時30分
- 場所 市勤労者交流センター
- 対象者 学生を除く市内に在住又は勤務する人
- 定員 20人程度
- 受講料 無料
- 材料費 1,000円(全7回分)が必要
- 応募方法 直接来館又は電話で応募するか、氏名・ふりがな・性別・年齢・住所・電話番号及び子どもの氏名・ふりがな・性別・生年月日を記入しメール又はFAX
- 応募期限 5月27日(金)
- 受付時間 平日の8時30分～17時

**「かのやトライアル発注制度」の製品等を募集**

- その他 応募多数の場合は抽選となり、決定者のみ連絡
- 市勤労者交流センター  
〒893-0013 鹿屋市札元1-21-7 ☎0994-449088 kindokyo@enkei.jp
- 制度の内容 市内の中小企業等が開発・製造した製品等を市がトライアル製品として発注・使用した後、製品等の品質向上や販路開拓等の支援、市ホームページ等での紹介を行い、一般の発注・利用を促進する制度
- 対象製品等 以下のすべての要件を満たすもの  
○対象企業等が開発・製造したもので、次のいずれかに該当するもの  
①物品(加工食品を含む。ただし、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、生鮮食品、酒類を除く)  
②①に掲げる物品を利用したサービス  
○優れた技術及び製品特性を有し、市場性が見込まれる製品等であること

- 市の機関が調達している品目又は使途が見込まれる品目であること
- 他の地方公共団体の類似制度を活用しない(又は予定の)製品等でないこと
- 販売開始から原則5年以内のもの
- 対象企業等 中小企業支援法第2条に規定する中小企業者で、市内に本社・本店を有する法人・個人、又は対象製品等を市内で生産する者
- 製品等の選定 事前審査会の結果をもとに、トライアル発注選定委員会の審議により製品等を選定
- 使用後の評価・公表 使用後の評価結果を市ホームページ等で公表
- 応募方法 応募用紙、企業及び製品等の概要書類、製品等のサンプル、直近2期の貸借対照表及び損益計算書を直接持参
- 応募期間 5月13日(金)～6月17日(金)
- 市産業振興課(2階)  
〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号 ☎0994-311180



▲インキュベータ室

「市役所ロビーコンサート」の出演者を募集

内容 7月12日に3回程度開催する「市役所ロビーコンサート」の出演者を募集
日時 平日の12時20分
※庁舎の利用状況等を勘案したうえで決定

会場使用料 無料
応募方法 市ホームページ又は生涯学習課にある応募用紙を直接持参するか、郵送又はFAX
応募期限 6月20日(月)



輝北総合福祉センターの名称が「輝北ふれあいセンター」に変わりました

輝北総合福祉センターは4月から、「鹿屋市輝北ふれあいセンター」に名称を変更しました。平成28年度から平成30年度までは、市社会福祉協議会が指定管理者として管理運営を行い、公衆温泉浴場事業等はこれまでどおり実施しますので、ぜひご利用ください。



クールビズで業務を行っています

市では、地球温暖化防止及び省エネルギー推進の取り組みの一環として、10月31日(月)までの期間、ネクタイや上着を着

「スポーツセミナー」の受講者を募集

内容 子どものやる気や努力思考など、子どもの自発性を引き出すためのメンタルトレーニング
日時 6月4日(土) 17時30分~19時

対象者 高校生以上の競技者、小・中・高校教諭、スポーツ少年団等指導者、保護者
受講料 無料
応募方法 電話又は氏名・所属・人数・電話番号を記入しFAX

「高隈の田植え会」の参加者を募集

日時 6月12日(日) 9時30分~14時(小雨決行)
集合場所 カビックセンター
定員 30人(定員になり次第締め切り)
参加料
中学生以上 600円
小学生以下 300円
※昼食代を含む

「平成28年全国戦没者追悼式」の参列遺族を募集

日時 8月15日(月)
※前日からの団体行動
場所 日本武道館(東京都千代田区)



対象者 戦没者の配偶者及び3親等内の遺族又は一般戦没者の配偶者及び3親等内の遺族
※過去に参列したことがない人を優先
※次世代への継承の観点から18歳未満の遺族についても募集
定員 65人
※申込多数の場合は選考

自動車税は5月31日までに納めましょう

自動車税は、毎年4月1日現在で自動車検査証に記載されている自動車の所有者又は使用者に納めていただく税金です。今年の納期限は5月31日(火)です。なお、自動車税のグリーン化特例として、排出ガス性能や自動車の登録年度などに応じて自動車税が減額又は増額されますので、納税通知書でご確認ください。

また、自動車税の納税通知書には納税証明書用紙がついており、自動車税の納付後は納税証明書になります。車検のときに必要な場合がありますので大切に保管してください。

5月は水防月間です

これから梅雨や台風など雨量の多くなる時期を迎えます。大雨や洪水などの水害から身を守

「家族でワクワク♪多言語ワークショップ」の参加者を募集

内容 多言語環境の中で、言葉の不思議さと面白さを多角的な視野から考えるワークショップ
日時 5月28日(土) 10時30分~13時

場所 市東地区学習センター1階学習室
参加料 無料
応募方法 電話
応募期限 5月27日(金)



「大始良ぼたる祭り」の参加者を募集

内容は、日頃から一人ひとりが水防について関心を持ち、非常時に備えて準備していることが大切です。市では、災害時の避難所として学校や公民館などの施設を指定しています。指定避難所の場所や避難経路、家族との連絡方法については日常から確認しておきましょう。



「伊勢志摩サミット」開催に伴ない警備などを強化しています

5月に「伊勢志摩サミット」首脳会議等が開催されることに伴い、現在、安全確保のため空港での手荷物検査や港での船舶の取り締まりなど、全国的に警

お知らせ

吾平振興会館大ホールが使用できなくなりま
6月1日(水)から9月下旬まで、吾平振興会館大ホールの耐震補強工事を実施します。これに伴い、工事期間は大ホールの使用ができなくなりま

禁煙週間
厚生労働省では、世界禁煙デーである5月31日(火)から6月6日(月)までの1週間を「禁煙週間」として普及啓発を行っています。この機会に、自分や家族の健康を守るため、また快適な環境で生活するために、たばこを吸うことによる健康問題や喫煙マナーについて考えてみましょう。

ひらぼうぼたるの里「ぼたる祭り」オープニングイベント
内容 マスコットキャラクター「ひらちゃん・ぼうちゃん」によるフライト式、ホテル鑑賞会、地元農産物即売会など
日時 5月28日(土) 18時30分



補集中学校・高等学校の学校説明会

日時 5月28日(土) 14時
場所 市中央公民館集會室
補集中学校・高等学校
0994651192



係者・学校等・事業者のそれぞれの役割を明らかにし、社会全体で協働による「健康なまちづくり」を推進していくため、「鹿屋市健康づくり条例」を制定しました。

皆さんのご協力をお願いします。  
※条例の全文は市ホームページを参照ください。

市保健相談センター ☎0994-41-2110

「鹿屋市健康づくり条例」における各機関の役割

機関	役割（責務）
市	○市民の健康づくりに関する施策の総合的かつ計画的な実施
市民	○健康づくりに関心を持つ ○健康診断等を受け、自分の健康状態を知る ○個人の状況に合った健康づくりの実践 ○地域、職場等の健康づくり活動への参加
地域団体	○地域の特色を生かした健康づくり活動への積極的な取り組み
保健医療福祉関係者	○保有する資源等の提供に協力 ○保健医療福祉サービスを適切に受け取ることができるよう配慮
学校等	○保有する資源等の提供に協力 ○関係団体との連携及び協働による幼児、児童、生徒及び学生の健康づくりの推進
事業者	○健康診断等の受診促進、受動喫煙防止 ○休暇や心身の健康への配慮 ○市や地域団体等が実施する健康づくりの取り組みへの協力

# Health Care まちの保健室



## 「鹿屋市健康づくり条例」を制定しました

健康は、私たちの活力の源であり、生涯幸福な生活を送っていく上で基本となる共通の願いです。

健康づくりは一人ひとりが主体的に取り組むことが必要ですが、更に推進するために、社会全体で取り組む環境を整備していく必要があります。



また、高齢化が進行する中、要介護認定者数や医療費は増加傾向にあり、より一層の健康づくりの推進が求められています。

市では、市の責務と市民・地域団体・保健医療福祉関

## 5月・6月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医



鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
5月 15日	㊤ 前田内科	本町	42-2175
	㊦ まつだこどもクリニック	西原 2丁目	52-0507
	㊨ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
22日	㊤ 福田病院	寿 3丁目	43-4191
	㊦ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊨ 徳田脳神経外科病院	打馬 1丁目	44-1119
29日	㊤ 長崎内科	笠之原町	43-2195
	㊦ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊨ かのや東病院	笠之原町	42-3111
6月 5日	㊤ 中原クリニック	横山町	48-2011
	㊦ えとう小児科	札元 2丁目	40-3700
	㊨ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
12日	㊤ 末次内科循環器科	新生町	43-2331
	㊦ やのファミリークリニック	寿 4丁目	43-6248
	㊨ 大隅鹿屋病院	新川町	40-1111

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
5月 15日	ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
	山路医院	東串良町池之原	63-2134
	吉川医院	肝付町前田	65-2022
22日	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
29日	岩重医院	東串良町川東	63-8514
	入佐内科	吾平町麓	58-7006
6月 5日	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
	高山青腸科・外科	肝付町前田	65-7171
12日	黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
5月 15日	安代歯科医院	北田町	42-2936
22日	池田病院歯科	下蔵川町	43-6468
29日	クリス歯科	白崎町	41-3931
6月 5日	貴島歯科医院	札元 1丁目	44-5000
12日	けいこ歯科	寿 4丁目	40-0418

### ◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス ☎ 43-0119

平日/午後5時から夜間救急当番医を案内  
※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。  
休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内  
※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は、変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ、受診してください。

※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。  
原則として、投薬期間は通常1日分とします。

**4** 月下旬、北九州市から宮崎市まで高速道路がつかないまま。宮崎県民としては、北九州や大分方面へのドライブが計画しやすくなり利便性が向上する一方で、過疎地の人口流出が加速する懸念があります。大隅地方も東九州自動車道や都城志布志道路の建設が進められているだけに、おもてなしなどできる準備しておく必要がありますね。(串間市・くろやんさん・38歳・男性)



東九州自動車道の鹿屋串良ジャンクションが完成し、遠方から鹿屋市に訪れやすくなったことで日帰り客が増えたり、農畜産物などの商品を鹿屋から消費地に運びやすくなり、地域活性化のチャンスが増えました。今後東九州自動車道については、志布志や串間方面に延伸していく予定ですが、大分、宮崎方面からも多くの人々が訪れる機会が増えると思います。日帰りだけでなく滞在を、そしてリピーターを増やしていけるような魅力やおもてなしを、鹿屋だけでなく大隅地域で考えていくことが大切ですね。

**田** 崎グラウンド(多目的広場)の土を、きちんと水はけの良いものに変えてください。「芝をはかされる前の方が、まだ良かったです」とみんな言っています。これからも使用するので、早急に変えてほしいです。(ゆみなもあさん・45歳・女性)

田崎多目的運動広場は「平成26年度鹿児島県ちびっこソフト大会」が鹿屋市で開催されるということで、ソフトボール協会等からの要望により、芝のはき取りなどを行ったものです。また、ほかの競技等でも利用いただけるよう、これまで、グラウンド中心部や流末部分への排水管の敷設砂を入れる等のメンテナンス(維持管理)に努めています。今後につきましても、指定管理者や専門業者等とも協力して、利便性の向上に努めてまいります。ご理解と協力をお願いします。

**大** 人の社会見学を読んで、思い出しました。3〜4年前の話ですが、鹿屋のクエン酸が化粧品品の原液会社などで使われていると聞き、クエン酸と言えはカライモ、カライモと言えは激粉、激粉と言えは昔は搾りカスのことでした。九州化工さん、これからも頑張ってください。(かえるの仔さん・85歳・男性)

広報かのや2月号に掲載した九州化工株式会社へのエールです。人は乳酸と言われる物質が筋肉にたまると疲れを感じるようになっており、クエン酸はこの乳酸を減少させる効果があるそうです。スポーツに携わっている人が多い鹿屋市ですので、もっと多くの人にこのことを知っていただきたいと思えます。

**65** 歳からの温泉券について、年寄りでも自由な人に対して、入浴料の半分を助成するとかはできないでしょうか。(市民の声直行便より)

温泉保養の助成制度の目的は、温泉を利用する人に対して、温泉の利用による健康保持や外出の機会をつくることによる引きこもり防止のための助成です。この制度は、比較的健康な人を対象としており、介護が必要な人などは、介護保険制度による入浴サービスなどの福祉サービスを利用できるようになっていますので、詳しくは市高齢福祉課までお問い合わせください。

このほか複数のお便りをいただきました。今号で掲載できなかったお便りについては、ホームページで公開しています。

No.249

市民の皆さんからの  
**お便りを募集**

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合がございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1  
市政策推進課  
「市民のひろば」係  
☎ 0994-31-1123

お名前／ふりがな \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します \_\_\_\_\_ 年齢／性別 \_\_\_\_\_ 歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□ \_\_\_\_\_ プレゼント 要 ・ 不要

8 9 3 - 8 5 0 1

✕キリトリ線

お手数ですが  
52円切手を  
お貼りください

鹿屋市役所 政策推進課  
**KANOYA** 「市民のひろば」係 行



本物を携えて世界へ

大隅・鹿屋が生み出す

# 明日への扉

No.17



Taro Matsunaga

松永 太郎 さん

昭和49年生まれ。鹿屋高校入学と同時に吾平町へ転入。筑波大学大学院修了後沖縄へ移住し琉球の伝統芸能に出会う。舞台演出家のもとで演出や作曲を開始し、8年間の沖縄暮らしの後平成19年に帰郷。高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」等を立ち上げる。(41歳)



8月に東京公演を控える鹿屋発ミュージカル「花いくさ」。世界を見据えた「本物」づくりのために奔走する日々。多忙な合間を縫ってのレッスンでは、真剣さの奥に楽しさをのぞかせる。

13年ぶりに帰郷した鹿屋は様変わりしていました。商店街には劇場を含む立派な施設が完成して、まずはここからだと、思った私は、地元の高中生で作るミュージカルの企画書を手し、リナシティかのやの事務所を訪問。それが「ヒメとヒコ」の始まりで

この4月から、縁あって劇団員の一人が鹿屋の農業生産法人で働いていて、社長と「乾燥野菜と舞台のコラボ商品を作ろう」と計画を練っています。野菜も舞台も、この雄大な大隅の大地から生まれのもの。そんな大隅の「本物」を携えて、世界で通用する劇団を目指す。と思っています。

新鮮で、毎日が学びの連続でした。特にウチナンチュと自らを呼ぶ沖縄の人々が、自分の故郷を心から誇り、愛していること、文化・芸術がそのアイデンティティの中心にあることに感銘を受けました。結局8年間の沖縄暮らしで、私は自らの根ごと向き合うこと無しに自分の作品は生み出せないのだと悟り、鹿児島に帰郷しました。

この卒業生たちの次の目標にと作った作品です。この舞台の原作は映画化が決定しており、そして私たちも8月に東京公演を行います。ついに鹿屋のアマチュア劇団が東京の商業演劇に挑戦するのです。これからは鹿屋に住みながら全国の舞台に立つことが夢ではなくなるとも思いません。

北田商店街 (昭和35年)

## マチロク

～いつもの街の貴重な記録～

**北**田アーケードの文精堂付近の写真です。通りを歩き交う人々や脇に並べられた自転車や商品、バイクなどで当時のにぎわいの様子が見て取れます。北田周辺は古くから月に6回の市が開かれるなど、鹿屋城(亀鶴城)の城下町として栄えた歴史があります。アーケードは現在では湧水を利用したミストが整備され、暑い夏に一服の涼を与えてくれます。まちは常に変化し続けますが、昔から変わらないお店など、「いつものまち」がそこにあることも、まちの魅力ではないでしょうか。

国市文化財センター ☎0994-31-1167

鹿屋市協賛

## かのや活動レポート vol.8

今回の報告者  
青木 敬介 隊員

鹿屋市で初めての居住体験住宅「吾楽暮」が吾平に完成しました。これは吾平を楽しみ、吾平での暮らしを体験したい人のお試し住宅で、4月から美里吾平コミュニティ協議会で運営を開始しました。体験住宅「吾楽暮」の室内

協力隊としていよいよ最終年度となりますので、「吾楽暮」を活用して一人でも多くの交流人口を増やし、吾平地区や鹿屋市への移住につなげたいと思っています。「吾楽暮」(I like AIRA)は吾平を愛し、吾平での暮らしを希望する人を応援します。

## Present

応募×切 6/9①  
当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



株式会社鹿島食品  
商品券1,000円分/3名様  
株式会社鹿島食品田崎工場  
鹿屋市田崎町725-3  
株式会社鹿島食品田崎工場内の直売店 kentmamanで、人気の「ロールかつ」や「ごぼうの唐揚げ」、「肉巻きおにぎり棒」など様々な惣菜食品が購入できる1,000円分の商品券を3名様にプレゼント!

## お便り&メッセージ

※キリトリ線.....

---



---



---



---



---



---



---



---

ご協力ありがとうございました。  
ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。  
Kanoya City Public Relations 26

# 建設業の一人親方労災保険

「仕事・現場への往復などでケガをされた時、当センターが全ての手続きを行います。※別途手続き費用不要」

年間保険料 (年会費含む) **合計39,740円** から加入できます。\*初年度のみ入金5,000円別途必要

**一人親方って?**  
大工・左官・電気など一人で仕事を請けてされている方です

補償内容 病院の治療費無料、入院時の賃金、補償障害年金、葬祭費用、遺族年金支給

〈お気軽にご連絡ご相談ください〉  
南九州建設労災センター(井之上社会保険労務士事務所内)  
TEL0994-32-5841 垂水市松原町36番地

地域の皆様が会員です! みんなが立派にお葬儀を行えますように! ~そんな地域になりますように~



多数のお客様の声を受けとめ、各地の道路案内看板は基本的に控えさせていただきます。

24時間受付 お気軽にお問い合わせください

家族葬の 田崎 齋場 鹿屋市田崎町108  
池田屋 バイパス齋場 鹿屋市大浦町14042-8  
☎0994-44-4440  
株式会社Ligare 鹿屋市札元2丁目3783-2

# 急募 看護・介護・募集

**看護職員**(常勤・パート) 若干名  
〔内容〕入居者の健康管理  
〔基本給〕165,000~220,000円  
〔パート時給〕900円~

**介護職員**(常勤・パート) 若干名  
〔内容〕入居者の日常生活支援  
〔基本給〕130,000円~177,000円  
〔パート時給〕750円~

**各種保険完備**(健康保険・厚生年金・雇用保険)  
**各種手当有り**(夜勤・住宅・通勤・他)

**経験者・有資格者優遇・独身寮有り**

勤務地 錦江町:特別養護老人ホーム青山荘  
グループホーム青山荘  
養護老人ホーム大根占錦江園

鹿屋市:グループホームとも  
デイサービスセンター木楽

応募・連絡先 他、待遇などお気軽にお尋ね下さい。  
TEL (0994) 22-3388  
青山荘 鹿児島県肝属郡錦江町城元3724-1

# PHOTO STUDIO H

フォト スタジオ アッシュ

マタニティ撮影例 (30分撮り放題) **TOTAL ¥14,000**  
貸スタジオ ¥2,500 カメラマン ¥3,000  
貸衣装 ¥500 ポディジュエリー ¥8,000  
(腹部イラスト・定額のスーツ)

カメラ・衣装持込みOK!  
マタニティ撮影例 (30分撮り放題) **TOTAL ¥7,500**  
貸スタジオ ¥2,500  
ポディジュエリー ¥5,000 **旦那様・ご友人様撮影**  
(ワンポイントイラスト・カラー)

※上記スタジオ料金は30分ご利用料金です。  
※別途消費税が必要です。  
※ポディジュエリーは事前打ち合わせが必要です。  
その他、成人式・七草・七五三・節句・百日祝いなど『スタジオ予約』でお電話ください。  
TEL 0994-45-6603 担当 末原 洋平  
営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週木曜・第3日曜日  
鹿屋市寿 5-10-6

皆様の「あったらいいな」をかたちにしました!

費用を抑えながらも充実内容のプラン

http://ikedasousai.jp

通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。

親戚や友人を交えて送る **家族葬**

**158,000円** (税別)より

通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物やお返し物の持ち込みも当社では無料です。

●家族葬のご依頼・ご相談は

池田 葬祭 ikeda sousai 0120-269-556  
鹿屋市王子町3967-3(バイパス沿い) 365日24時間受付!

ちょうどいい広さの家族葬ホール  
ことぶき中央斎場 鹿屋市寿4丁目1-18 (マックスバリュ寿店前)  
にしはら中央斎場 鹿屋市今坂町12403-9 (マックスバリュ西原店前)

# 新規業務拡大につき 求人大募集!!

**募集10名限り** 2ヶ月間の時給850円~!! (パート)

職種:工事現場や駐車場、イベント会場等における警備誘導、施設警備、機械警備等  
資格:一切の資格はいりません(普通車・原付免許者・警備資格者優遇)  
時間:シフト制(働く時間帯を選んで勤務、土日祝のみOK!!)

給与:正社員(月15日以上勤務)日給6000円資格者手当、交通費、その他諸手当  
パート(週3日程度)時給750円~1200円 資格者手当、交通費  
昇給については、パート、正社員問わず勤務査定や資格取得、個人の能力に応じて実施  
保険については、全員に雇用保険、労働者災害保険加入 正社員は社会保険・厚生年金加入

先ずは電話またはメールでお問い合わせください

南国警備株式会社 鹿屋営業所 ☎0994 お気軽に!!  
鹿屋市打馬1丁目12番20号 野元第一ビル2F  
メール:nangokukeibi-kanoya@circus.ocn.ne.jp **45-4900**

# かのや交通株式会社

貸切バスのご案内  
デラックスバスで優雅な旅行を

私たちのモットー 大切な命を守る仕事

こんなとき貸切バスが便利です!!  
クラブ活動の遠征や社会見学、社員旅行、研修旅行、グループ旅行に、結婚式、葬祭送迎、イベントの貸切送迎に!!

〒893-0037 鹿屋市田崎町2813-4  
TEL (0994)41-0097  
FAX (0994)41-0003

上山種苗 野里 セブンイレブン 大始良

**広告のひろば**  
(株)総合印刷  
☎ 0994-43-2093

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政推進課になります。お気軽にお問い合わせください。